

## 平成 29 年度 第 1 回 おおさか環境ネットワーク会議レポート

作成：事務局 堤 康郎

日時：平成 29 年 6 月 8 日(木) 18:30~20:30

場所：大阪市環境局(あべのルシアス)12 階 第 2 会議室

### はじめに

梅雨入りが実感されるなか、ネットワークメンバー10 団体計 11 名にお集まりいただき、平成 29 年度 第 1 回 おおさか環境ネットワーク会議が開催されました。

冒頭、事務局より、今年度ネットワーク会議全 12 回の専任ファシリテータに World Seed 代表理事 岡見厚志氏を迎え、岡見氏のコーディネートのもと進めていくとの方向性が提示されました。これを受け、岡見氏から、当ネットワーク会議の進め方と本日のプログラムについて説明がなされ、本題に入りました。



環境局大西課長代理から挨拶

### 共通目的づくりに向けて

最初に、昨年 1 年間のネットワーク会議での合意形成のもと、岡見氏から参加団体の皆様へ“みんなの共通目的(アジェンダ)”について、分かりやすいキャッチーなスローガンという形で複数案(①持続可能な未来を子どもたちへ②100 年後の子どもたちの笑顔のために③大阪から世界の環境を元気に)の提案がなされ、次回ネットワーク会議で参加団体の皆様の合意のもと決定したいとのメッセージが発せられました。

次に、各団体ならびに、環境局関係者、スタッフの自己紹介があり、各団体は、環境という切り口でそれぞれの持ち場において多彩な役割を担われていることが改めて認識されました。

### 問題点・課題の抽出

お互いの状況が分かり、少しリラックスしたところで、さて、いよいよ本日のメインイベント、3 グループに分かれたワークショップです。“課題と資源を共有して、解決するアイデアを考えよう！”というのが今回のワークショップの目的で、その一環として先ずグループ単位で各団体が当面直面する問題点・課題について議論がなされ、全員で共有され



も聞こえてきました。

これら問題点・課題は、次回以降のネットワーク会議での参加団体の主体的な取り組みによる解決に向けた貴重なテーマということで、一旦ファシリテータ預かりとなり、ワークショップの前哨戦は終了しました。

### 具体化へのウォーミングアップ

ワークショップのハイライトは、今後の問題点・課題解決に向けたウォーミングアップとも言える、グループ単位でのカードゲームです。

こんな人のつながりがあるよ、こんな人を知っているよ。こんな場所があるよ、こんな場所を知っているよ。こういった、本来なら個々がその領域内で持っている情報をみんなの共通のテーブルに乗せ、それらを自由な発想(アイデアカードとしてファシリテータが事前に用意)で刺激することで、個々ではとても生み出せなかった新たな行動を生み出していくという試みです。要約すると、属人的人の資源と場所の資源をグループ全員で共有し、そこに新たな視点で柔軟なアプローチを試みることでこれまでにない動きに繋げていくということです。図式化すると、“人の資源×場所の資源×アイデア=波及効果の高いアクション”ということになります。

さて、どんなユニークな企画が生まれるやら？先ずは各人が一枚のカードに人の資源と場所の資源を記入し、グループ内で発表しグループ内のメンバーはそれらを共有。その後、それらのカードを集めてシャッフルし、一人ずつ順番に人の資源のカード、場所の資源のカード、アイデアのカードを引き抜き、その場で即興で具体的なアクションとして発表しました。参加者は全員大まじめに、



ました。

各団体に共通するのは、活動資金の調達、マンパワー(人手)不足、特に若手がない、といった点です。そのほか、活動の連携先がワンパターンで環境以外の幅広い活動団体とも連携したい、事務処理能力不足、特に書類づくりが大変、昨今の広報のスピードについていけない、環境啓発を実施する際の企業のCSR活動との競争が非常に厳しい、といった声

時には目一杯妄想を膨らませ、このカードゲームに時の経過も忘れ没頭。あまりの荒唐無稽ぶりに笑いがあちらこちらで生まれるなど、ワイワイガヤガヤ終始和やかな雰囲気ワークショップは進んでいきました。最終的にはグループ内での一人ひとりの発表を終え、代表的な事例をグループ単位で一例発表し、全員で共有。

一連のワークショップからは、カフェの店長(人の資源)×カフェ(場所の資源)×被災地を支援、〇〇〇検定を開催(アイデア)＝カフェで、地産地消の食材を使ったサバイバルエコ料理検定をし、検定料金を活動の原資として活用すると共に、メニュー化された料理をカフェで提供し、得た対価の3%を被災地の支援金として寄付するといったユニークな事例が生まれました。

### オープン化へ

ワークショップ後は、次回6月29日(木)の坂田裕輔氏(近畿大学産業理工学部経営ビジネス学科教授)による講演「国連 持続可能な開発目標(SDGs)2030 と大阪の未来をめざして」の案内と、本日の参加団体の皆様からの積極的な行事案内・PRを経て、2回目からは、このネットワークをオープンな場として、知り合いの環境活動団体、特に若手団体のオブザーバー参加を本日の参加者に呼びかけるなど、あっという間に予定の2時間が経ちました。



さて今回のワークショップを契機に、団体間での連携により、今後どんな問題点・課題解決に向けた具体的な取組・展開が見られるか、次回以降が楽しみなところです。

以上